

さんどこどっこい！ 北小児童が和太鼓学ぶ

ふ るさと塾「和太鼓教室」が、9月28日(木)に北小で行われ、5年生児童7人が雪国鷹巣太鼓保存会（延澤健治代表）のメンバーから和太鼓を学びました。これは、山形ふるさと塾推進協議会が地域文化の伝承を目的に実施している「ふるさと塾」を活用したもので、雪国鷹巣太鼓保存会の協力で行われているものです。

この日は、保存会のメンバーの指導を受けて、ばちの持ち方や立ち方、太鼓のたたき方などを学びました。参加した海藤はるさんは、「今日初めて実際の太鼓で練習しました。立ち方やたたき方など難しかったです」と話していました。



宮沢賢治朗読のタベ 幻想的な世界観楽しむ

宮沢賢治作品の朗読を歌とダンスとともに楽しむことができるコラボイベント「宮沢賢治朗読のタベ」が、9月15日(金)に虹のプラザ「エントランスホール」で行われ、町内外から約100人が参加しました。これは、宮沢賢治没後90周年を記念して町立図書館が企画したイベントで、読み手や歌い手、奏者など、出演者はほぼ町民の方で構成されています。

イベントは作品毎に朗読、歌、ダンスの3つのパートに分けて展開され、舞台照明と組み合わせられることで幻想的な雰囲気となり、来場者は宮沢賢治ワールドを楽しんでいました。



大石田の昔話や伝説を語り継ぐ 感情豊かなむがす語り楽しむ

とんとむがす語りが、10月4日(水)に虹のプラザ「中会議室」で行われ、約40人が参加しました。これは、大石田とんとむがすの会（富樫恭子代表）が開催しているイベントで、今回で13回目の開催となります。同会では、町に古くから語り継がれてきた昔話や伝説を伝えようとむがす語り活動を行っています。

この日は、6人のメンバーが昔話や伝説、方言遊びの替え歌などを披露しました。来場者は、メンバーの感情豊かなむがす語りを楽しんでいました。



きららクラブ大石田 第11回公式ワナゲ大会

ワナゲを通じて
交流を楽しむ

きららクラブ大石田「第11回公式ワナゲ大会」が、10月4日(水)にクロスカルチャープラザで行われ、町内から75人が参加しました。参加者はワナゲを通じた交流を楽しみながら、熱戦を繰り広げていました。

大会結果

〔団体の部〕			〔個人の部〕		
優勝	朝日町Aチーム	232点	優勝	星川セイ子 (駒籠)	270点
準優勝	庚申町Cチーム	225点	準優勝	遠藤 五郎 (駒籠)	259点
第3位	駒籠Cチーム	223点	第3位	青木 孝次 (庚申町)	224点
第3位	鷹巣Cチーム	157点	第4位	星川サチ子 (駒籠)	218点
第3位	庚申町Aチーム	116点			

